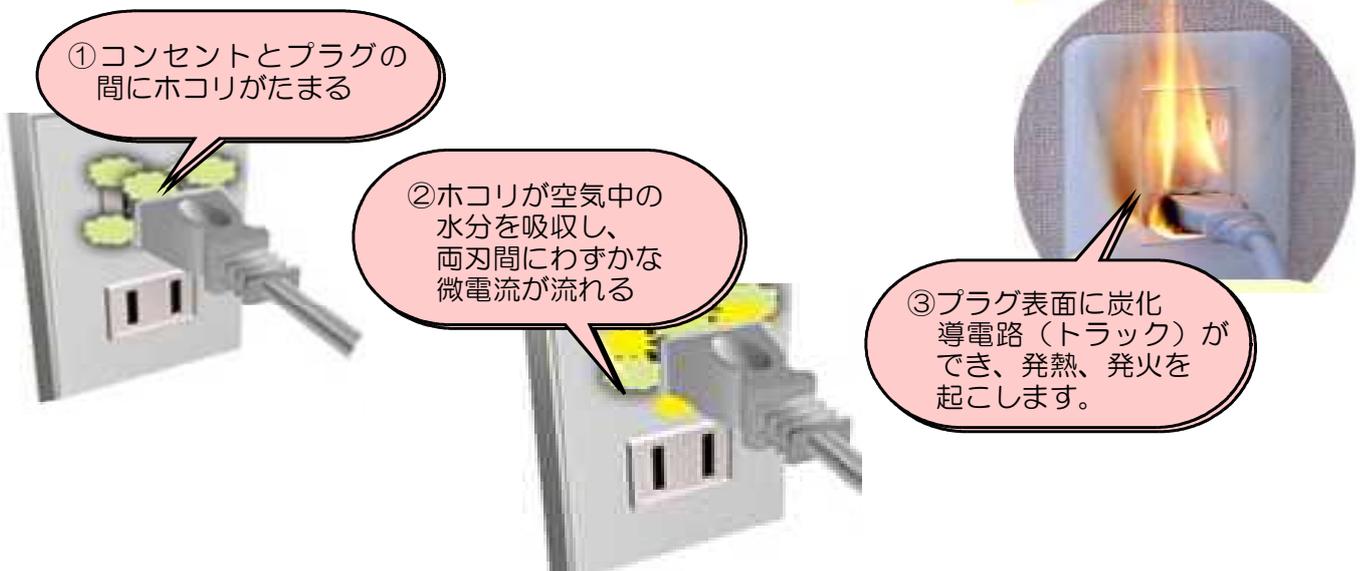


恐ろしい火災の原因 トラッキング現象

【長い間差し込んだままの電源プラグは要注意！】

みなさんは、家具の裏など、ホコリのたまりやすい場所の電気プラグもこまめに掃除していますか？長い間、差しっぱなしになったコンセントと電源プラグの間にはホコリがたまりがち。そこに湿気が加わると、電源プラグの刃の間で火花放電が繰り返されます。その熱がコンセントに接する絶縁部を加熱し、電源プラグの刃と刃の間に「トラック」と呼ばれる電気の道をつくります。やがてはそこから放電をおこし、発火。これが**トラッキング現象**です。見えにくい場所や手の届きにくい場所は、つい見逃してしまいがちですが、こまめにチェックして電源プラグのホコリを取り除きましょう。特に洗面所や台所など、湿気が高く湯気や水滴が直接かかる位置にある電源プラグは時々抜いて、乾いた布で拭き取り、水気をシャットアウトしてください。



【トラッキング現象を防止するには】

トラッキング現象防止機能が備わった電源プラグやタップに変更することは火災予防に有効な対策となります。トラッキング現象防止機能とは、電源プラグの刃の根元に絶縁性のあるキャップが付いていて、万一、ホコリが溜まっても発火を防ぐことができます。

しかし、トラッキング現象防止機能のプラグに変更しても、100%トラッキング現象を防げるわけではないので、まずは日常的に掃除をすることが必要です。

異常に熱くなった電源プラグやテーブルタップ、コードなどを使用することも危険です。すぐに使用をやめ、電気店に点検してもらったり、新しいものに取り替えるなどしてください。



津山圏域管内においても、近年、電気火災の割合が増加傾向にあります。トラッキング現象による火災や、電源コード等のショートや接続部の緩みによる発熱等の火災も発生しています。適切な取り扱いや維持管理をしていただき、ご家庭や会社から電気火災の発生を防ぎましょう。

詳しくは、津山圏域消防組合
予防課までお問い合わせください。
◇予防課 Tel (0868) 31-1251